

Koryu

Ritto International Friendship Association

国際交流・外国人支援から目指すもの

多文化共生のまちづくり

たぶんかきょうせい “多文化共生”って何?



多文化共生を
探しに行くゾウ

「多文化共生」とは、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく ことです。(出典「多文化共生の推進に関する研究会報告書」2006年総務省)



栗東市には「外国人」は
何人住んでいるのかな?

平成22年2月末現在、
「外国人登録者数」は、約1,130人。
栗東市の人口約57人に1人です。



ここで注意!



外国人登録をしても日本で生まれ育った方、また、日本国籍であっても日本語に不便を感じられている方も多くいます。「**外国につながりを持つ人**」という表現が使われるのは、そのためです。

多文化共生を考えると、外国人登録者数では見えてこないことにも意識を向ける必要があります。

栗東国際交流協会で、今年度実施した主な事業は下記のとおりです。

来年度は、工夫と改善を加え、市との協働で、さらに多文化共生のまちづくりを目指していきます。



国際交流

海外派遣や受け入れをはじめ、交流イベントなどで
お互いの文化を伝えあい、友好を図る考え方。

広く、異文化理解へのきっかけとするもの。

- * 異文化交流サロン(栗東再発見バスツアー)
- * りっとう市民夏まつり出店
- * 世界と出会う交流広場 in 滋賀がよいもん市

外国人支援

日本で生活する上で、言葉や文化、制度の違いなど
によって感じている不便や困難をサポートする活動。

- * ボランティアによる日本語教室
- * Japanese Cooking (和菓子作り、お弁当講座)
- * 外国人生活相談窓口(ポルトガル語通訳)

開発教育

「開発途上国への支援を促すための教育」として生
まれたもの。経済の発展によって生まれた問題につ
いて知り、問いかけ、自分たちは何ができるかを考える。

- * 「世界と出会う玉手箱」
(JICA 大阪国際センター共催)

国際理解教育

日本では、「国際社会に生きる日本人の育成」を軸と
し、「日本の伝統・文化への理解と尊重」「異文化理解」
「外国語・外国語コミュニケーション能力の育成」を
指している。

- * 国際理解講座
- * 語学講座

各事業は、明確に分類されるものではなく、お互いにつながりをもって実施しています。

さまざまな国の文化を体験



第4回 世界と出会う玉手箱

けん玉は世界を渡る (モザンビーク編)



1月24日(日) 中央公民館

けん玉チャンピオンの窪田保さんによる講座。青年海外協力隊時代の話とけん玉の時間。参加者からは、「感動して涙が出た」「夢中になって話を聞いた」「けん玉の魅力に取りつかれた」との声。あっという間の、楽しく、感動の2時間。 共催：JICA 大阪国際センター

第5回 世界と出会う玉手箱

アラブの文化・ヨルダン料理



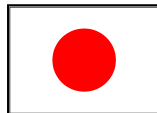
2月14日(日) コミュニティセンター治田東

真っ黒の民族衣装で登場し、みんなを驚かせた杉村由紀子さんによる講座。イスラムの習慣やヨルダン料理には魅力が満載。アラビア語で書かれた自分の名前カードは、宝物に！ 共催：JICA 大阪国際センター

「世界と出会う玉手箱」は、JICA 大阪国際センターが滋賀県各地で実施している開発教育ワークショップです。2009年度は、RIFA との連携により、栗東市内で連続5回講座として実施しました。

Japanese Cooking

外国籍住民向け お弁当講座



2月11日(木・祝) コミュニティセンター大宝東

「お弁当作りに困っている」という外国籍の方の声から生まれた講座。文化交流委員の堀池優子さんが「定番食材で、安く作れるもの」にこだわってレシピを考案。“ぜひ次回も！”と2回目を求める声で終了。

国際理解講座

ゆったり のんびり 微笑みの国 タイ時間



3月6日(土) コミュニティセンター治田東

やわらかい雰囲気をもつ船岡プラニさん。栗東市内のマッサージ店で働かれています。タイの話、タイ文字で自分の名前を書き、最後はタイ式マッサージで体をほぐしました。

出前講座

インドネシアから来て1年半



2月10日(水) 栗東市商工会

今年度からRIFA 日本語教室に通っている森下ディノさん。「人前で話すのは初めて」と緊張しながらも、日本に来ての戸惑いや喜びなど、一生懸命に話してくれました。

*****私たちはRIFAを応援しています*****

スマイ印刷工業さん

宝文堂さん

京阪津ツーリストさん

栗東総合産業さん

ナミビア からの お便り



いすみ やすひろ
泉 泰弘さん セスタバジカ (Cesta Básica) 代表

セスタバジカとは、「基本的なバスケット」という意味のポルトガル語。ブラジルでは「日常生活を送るための必需品のセット」を指します。昨年度からの不況を受け、職を失った外国籍の方への支援をされています。
ホームページ：<http://blog.goo.ne.jp/cestabasica/>

1) 人生の約 7.5%を南半球で暮らす

こんにちは。長浜在住、彦根勤務（滋賀県立大学環境科学部）の泉泰弘と申します。昨年 11 月から職場の在外研修制度を利用してアフリカ大陸の南に位置するナミビア共和国に滞在しています。こちらで 3 月いっぱいまで稲作の研究をする予定です。

首都のウィントフックはヨーロッパ系とアフリカ系の住民が混じって暮らしていますが、私が働いている北部は大部分がアフリカ系の人達です。

ちなみに私は、20 年前に JICA ボランティア（青年海外協力隊）として南米パラグアイに 2 年半住みました。その後もなぜか南半球とばかり縁があり、今回の 141 日間を全うできたとすると「人生の約 7.5%を南半球で過ごした人間」になります。

2) 琵琶湖級“水たまり”に稲作プロジェクト

こちらは雨が少なく、乾燥に強いトウジンビエという作物が主食用に栽培されています。しかし、雨期に入ると隣国アンゴラで発生した洪水が流れ込んできて、オシャナという水たまりになります。並の大きさではありません。琵琶湖級のものがあちこちでできるのです。ただし、深さはそれほどでもなく、水草が生い茂ります。

これまでは家畜を放すぐらいで、お世辞にも有効に利用されてきたとは言えませんでした。ならば湿潤環境には打ってつけのイネを植えたらよかろうと、数年前にこのプロジェクトがスタートしました。

今回の私の任務は気象観測機器を設置した 2.3 ヘクタールの圃場ほじょうにイネを植えて、毎週データを採ることです。

「去年は、数十年に一度の大洪水が起こって、せっかく植えたイネが全滅した」という悲惨な話を聞いているので、立派な苗を作って田植えに備えています。ところが、今年は逆に雨が一向に降ってくれません。灌漑設備がないため、毎日恨めしく空を見上げています。もし今年が「数十年に一度の大旱魃だいかんぱつ」になるとしたら、やはり地球の気候変動の影響であると考えざるを得ないでしょう。

3) ただいま多文化生活の真っ最中！

私が普段使っているのはナミビア唯一の公用語である英語ですが、現地人同士は母国語の Oshiwambo でやり取りするので、私は全然わかりません。ただ、キューバに出稼ぎに行っていた人や独立前の混沌時代にアンゴラに住んでいた人が結構いて、彼らとスペイン語やポルトガル語で会話するのが楽しみです。

また、ナミビア大学のゲストハウスで自炊生活を送っているのですが、日本食（いわゆる「洋食」を含む）の他に、ブラジル料理のフェジョアーダ（豆と豚肉、牛肉を煮込んだ料理）なども作っています。

さらに、テレビでは“Da cor do pecado”というブラジル制作の連続ドラマも見られ、自分がどこにいるのか時々わからなくなってしまいます（苦笑）。

4) 思い通りにならない時こそチャンス！

ところで、これまで職場の長期在外研修制度（3 ヶ月以上 6 ヶ月未満）を利用した教員のおそらく全てが「技術の習得や語学力の向上」を目的として「北半球（ズバリ欧米）」の大学や研究機関に滞在していたように思います。「稲作の研究」を目的し、「アフリカ」を選んだ私は、全くの異色といえるでしょう。

しかし、物事が思い通りに進まないのを耐え忍ぶ内に、精神力は確実に鍛えられます。こうなると「研修」というよりは「修行」に近いような気もしなくはありませんが・・・私としては望むところです。

気候も資材も人（労働力）もままならなかった青年海外協力隊員時代を思い出します。ここ数年、マナーに陥っていた自分を鍛え直すチャンスが与えられていると前向きに考えて、過ごしています。



◀ 気象観測機器のセットアップ中。
あとはイネを植えるだけです・・・

お知らせ掲示板

各種イベント・講座のお問い合わせ&申込みは、
電話：077-551-0293（月～金 9:00～17:00）
FAX：077-554-1123
メールアドレス：mail@rifa.jp（随時）

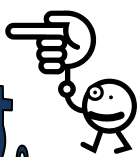
ごみの分別ガイド(翻訳版) 配布中

4月1日より栗東市ではごみ処理が有料化されます。

市役所で「ごみの分別ガイド」(英語・ポルトガル語・スペイン語・中国語)を配布中です。

また、簡単な案内用紙は、RIFA ホームページからダウンロードすることもできます。(英語・ポルトガル語・中国語)

翻訳版が必要な方へ
ご案内をお願いします。



平成 22 年度 多文化共生事業(案)について

来年度の「多文化共生事業(案)」では、具体的に次のような計画をしています。

- ・生活ガイドブックの作成(翻訳語版)
- ・日本の制度(税金など)の勉強会
- ・多文化共生イベント(実行委員会方式)
- ・日本語能力試験対策講座

RIFA 会員の方をはじめ、多くの皆様のご協力が必要となります。よろしくお祈りします。



韓国語講座(自主講座)紙芝居ほぼ完成！?

自主講座として月3回活動しているRIFA韓国語講座。現在、ハングル紙芝居を作っています。

栗東の民話をもとに、百済と栗東が力を合わせて・・・というストーリー。3年かけて作成し、ほぼ完成！！??太鼓を使った演技や、手作りのイラスト。Youtubeにアップされています。

(<http://www.youtube.com/watch?v=6153UAq9yKg>)



←紙芝居の一場面

RIFA 英会話サークル 誕生！

今年度、全23回で行われたRIFA英会話講座。

イギリス人 DAVID 先生の、熱心で、楽しい授業に魅せられたメンバーが、「来年度の講座まで待ちきれない！」と先生へ直接交渉。サークルとして、まずは半年間の継続決定です。

韓国語講座、中国語講座(自主講座)に引き続き、RIFAの事業をきっかけとして生まれたサークルです。



会員募集中！

【会員特典】

RIFA イベント、講座参加費の割引、会報「Koryu」、イベント案内のお届け

【会費(年間)】

個人会員	2,000 円
家族会員	3,000 円
法人会員	10,000 円

委員会

総務広報委員会

- ・会報「Koryu」発行(年4回)
- ・会員拡大・協会のPR活動
- ・HPの作成・管理

文化交流委員会

- ・異文化交流サロン・イベント企画運営
- ・友好都市・姉妹都市との交流活動

ボランティア活動

- ・語学(通訳、翻訳)
- ・日本語指導
- ・ホームステイ&ホームビジット
- ・文化紹介
- ・その他

より積極的に、楽しく。
RIFAを盛り上げたい！
活動したい！と思ったら
→委員会&ボランティア
活動に参加しよう♪♪

外国籍の方の参加も大募集中！お友達にご紹介ください。

【春夏秋冬】

21年度もこの号で終わり、来年度からまた一段と厳しい経済情勢となるようだ。「Koryu」も、のんびりとはしておられない。いかにすれば、あまり費用をかけずして今迄の発行体制を維持していくことが出来るかということを考えているところです。

いい知恵があれば教えて下さい。(M.O)

